

## 大阪大学 D3 センター 准教授公募

概要	大阪大学 D3 センターサイバーコミュニティ研究部門では、ICT を活用した建築・都市・社会のコミュニティ・デザインに関する研究を推進し、都市・社会インフラの整備から VR 技術、災害時避難シミュレーションに至る研究に意欲的に取り組んでいただける准教授を募集する。採用された場合、エフォート 35%を D3 センターにおける全学支援業務(全学教育推進機構図学教育の支援、メタバースプラットフォームサービスの運用監督、およびそれらのシステム等に関する管理・維持)に従事する必要がある。また、工学研究科地球総合工学専攻の協力講座として、建築工学部門における建築・都市形態工学領域を兼担するため、応募者には当該分野に関する専門力と高い教育研究能力が要求される。さらに、全学教育推進機構の授業(図学講義、図学演義など)、工学部の授業(建築設計など)、工学研究科の授業(建築・都市デザイン、空間デザイン学など)及び学生指導を担当いただく予定である。
1. 職名	准教授
2. 募集人数	1名
3. 所属	D3 センターサイバーコミュニティ研究部門
4. 勤務場所	大阪大学吹田キャンパス(大阪府吹田市山田丘2-1)
5. 専門分野	建築工学における最先端の ICT を活用した以下のいずれかの研究分野 ・シミュレーション技術を利用した建築・都市空間における人間行動に関する研究 ・XR 技術を利用した建築・都市計画におけるコミュニティ・デザインに関する研究 ・図学教育に資する建築空間認識能力に関する研究
6. 職務内容	・上記いずれかの分野に関する研究 ・大学院・学部学生に対する教育・研究指導 ・「概要」欄に記載の D3 センターにおける全学支援業務(エフォート 35%)
7. 応募資格	<ul> <li>[必須条件]</li> <li>(1) 博士の学位またはそれと同等の能力あるいは業績を有すること。</li> <li>(2) 上記専門分野における十分な研究実績があること。</li> <li>(3) 全学教育推進機構、工学部、工学研究科の授業を担当できること。</li> <li>(4) 業務遂行に支障のないレベルの日本語及び英語の能力があること。</li> <li>(5) 概要に記載した業務運営の十分な能力があること。</li> <li>[望ましい条件]</li> <li>(1)一級建築士の資格を有すること。</li> <li>(2)他分野、他組織との共創的な国内、国際共同研究を発展させる能力を有すること。</li> <li>(3)全学支援業務、研究、教育と業務内容が多岐にわたり、外部機関との連携も求められることから、これら業務のバランスを保つことができること。</li> </ul>
8. 採用日	2026年 4月 1日
9. 契約期間	期間の定めなし
10. 試用期間	6 か月
11. 勤務形態	「6. 国立大学法人大阪大学教職員の労働時間、休日及び休暇等に関する規程」による https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html ※同意に基づき、専門業務型裁量労働制適用(みなし労働時間:1日8時間)
12. 給与及び手 当	「18. 国立大学法人大阪大学新年俸制教職員給与規程」による https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html
13. 社会保険等	国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入

14. 応募書類	応募書類は英語または日本語で記述のこと
	① 履歴書
	※以下のサイトより、「教育研究系職用」の応募用履歴書をダウンロードしてお使いください(原
	則2ページ) https://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/employ/links
	nteps.// www.osaka a.ac.jp/ja/news/employ/miks
	② 研究業績 (原著論文(査読あり・なしを分けてください。DOI がある場合記載してください)、
	解説・総説、著書、特許、国内外の学会発表、受賞歴、獲得した外部資金。researchmapあるいは
	ORCIDが参照可能であれば、それが望ましい。)
	③ 主要原著論文の別刷 3-5 本。(PDF) ④ 主だった論文3-5本の説明を含むこれまでの研究、教育活動の概要(A4用紙4枚以内)。
	⑤ 着任後の研究及び教育の抱負(A4用紙2枚以内)。
	⑥ 概要に記した全学支援業務について、これまで類似の業務を行った経験とこれからの抱負
	(A4用紙2枚以内)。
	⑦ 照会可能な方2名の氏名・所属・連絡先
	※ なお、応募書類による個人情報は、採用者の選考及び採用後の人事等の手続きを行う目的
	で利用するものであり、第三者に開示いたしません。 JREC-IN Portal の当該エントリ(D125112028)より、Web 応募機能を利用して送付すること。(問
	合せ先に送付しないこと)。
15. 送付先及び 問合せ先	<担当者>
	大阪大学 D3 センターサイバーコミュニティ研究部門 教授 安福 健祐
	E-Mail yasufuku.kensuke.cmc@osaka-u.ac.jp
16. 応募期限	2025年12月25日(木曜日)
	書類審査を行ったのち、面接審査を行います。書類審査通過者にのみ面接審査の連絡を、原則
17. 選考方法	として応募期限から 6 週間以内に行います。 ※ 面接は状況に応じてオンラインもしくは対面で行います。対面で行う場合、面接のための旅
	** ・
	※ 書類審査不合格の連絡はいたしませんので、ご了承ください。
	上記の他の労働条件については国立大学法人大阪大学教職員就業規則等によります。
18. その他	https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html 以上の労働条件等については、本採用情報掲載時点のものであり、変更の可能性があります。
	また、採用後、所属、勤務場所及び職務内容については、本学が定める範囲内で変更する可能
	性があります。
	安全保障輸出管理に係る「みなし輸出」については国立大学法人大阪大学安全保障輸出管理
	規程等によります。 https://www.osaka-u.ac.jp/kitei/reiki honbun/u035RG00000780.html
	女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
	大阪大学は、男女共同参画を推進し、女性教職員のための様々な支援を実施しています。 http://www.di.osaka-u.ac.jp/
	http://www.di.osaka-d.ac.jp/
	エフォートの35%を教育系全学支援業務(全学教育推進機構図学教育の支援、メタバースプラ
	ットフォームサービスの運用監督、およびそれらのシステム等に関する管理・維持)に従事する形 をとっての勤務となります。なお、全学支援業務の内容は時勢に応じて変化していく可能性があり
	でとうくの勤伤となりより。なね、主子又仮未伤の内谷は吋劣に応じく変化しくい、可能性があります。
	次 ★ 炒 → 市 → 市 → 市 → 市 → 市 → 市 → 市 → 市 → 市 →
10 芦伊老	※ 本学は敷地内原則禁煙です。
19. 募集者	国立大学法人大阪大学